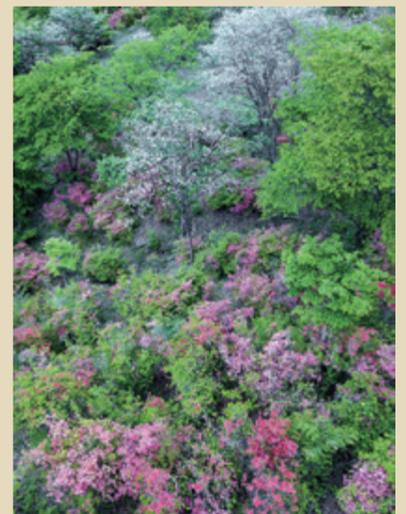


- 2 今月の話題「交流広場 建設中！」
- 4 特集「新型コロナウイルス対策」
- 8 いいたて百景「田植えのころ」
- 10 ココが分かりやすい「村民向け予算書」
- 11 農業委員会からのお知らせ
- 12 いいたて便り
- 14 話題のパレット
- 15 そのころはっ／新着図書紹介
- 16 おしらせのページ
- 17 入札結果
- 18 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 19 こころのぽけっと／ひとのうごき
- 20 HOPES (ホープス)



今月の表紙

自生するヤマツツジが山肌をおおう大火山の「ツツジの森」。平成16年から整備をしてきた村議会OB会、現在整備を請け負う村森林組合の皆さんと共に、手入れの打ち合わせを兼ねて訪れました。

建設中の交流広場にどきどき

楽しい仕掛けがいっぱい 完成が待ち遠しい

8月に完成の予定です

「深谷復興拠点」に建設中の多目的交流広場。敷地の造成工事、屋内運動施設の建設などが進み、現在は、植栽や遊具の設置、施設内の工事などを一斉に行っています。

「いいたて村の道の駅までい館」に隣接するこの広場の総面積は約1万2000㎡。震災後の復興計画の中で整備が計画された「深谷地区復興拠点」の仕上げの事業になります。

多目的交流広場には、季節の花の散策路や芝生の広場が設けられます。また、子ども達の好奇心や遊びたい気持ちをかきたてるような仕掛けもたくさんつくられます。

8月のオープンが待ち遠しいですね。外出の環境が整い、多くの方に楽しんでいただけますように。まだしばらく工事が続きますが、引き続きのご協力をお願いします。



施設内の様子は、まだひみつ!? お楽しみに!

大型トランポリンびよんびよんドームが登場します

奥は深谷団地です

芝生を養生中

サイロ型の遊具

小さなステージ

めぐ 洞窟型・家型遊具の製作について聞いてみました

洞窟型遊具の大木、岩、そして、洞窟内のレリーフ、家型遊具の屋根、レンガ、木の壁、これらすべてモルタルで造形された擬造物(!!)です。色づけには、「エイジング」という処理を行い、年月を経た雰囲気表現しています。

私達は、東京ディズニーリゾートやUSJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)などのテーマパーク、全国各地の動物園や水族館などの造形や装飾を数多く手掛けています。この多目的広場の造形は、6人のチームで担当しました。

こうした造形は「本物そっくり」ではなく、いかに「完成イメージ図」とおりに実現できるか！を大切にしています。



親泊 康裕 さん
公園の造形を担当する「ソル・クリエイティブ」社員。全国の施設で活躍しています。



物語の世界に登場しそうな神秘的な洞窟。内壁のレリーフ(下)にも思わず見とれます



全身を使って遊べるツリーハウス



いつかの映画で見たような…小さな人が出てきそうな家型の遊具

